

2 主な事業

(1) 各種大会等

- ① 令和2年度福島県高P連総会並びに第70回会津大会 *総会は書面、大会は中止
5月28日(木)～29日(金) 芦ノ牧温泉 大川荘
テーマ 「変革の時代にたくましく生きる力を～」
講演 「わが青春の野球で得たもの～大学野球のあの時とあの日のふくしまで見た真のリーダー～」 元東京電力原子力センター所長 石田守也 氏
分科会 5分科会における問題提起・協議・指導助言
- ② 第69回東北地区高P連秋田大会 *中止
7月2日(木)～3日(金) 秋田市文化会館、秋田キャッスルホテル
テーマ 「次は”おとな”」～自ら選択し決断して生きていく力を育むために～
講演 「ヒマラヤから砂漠、難民の土地へ～登山家、写真家、母としての挑戦」
フォトグラファー 小松由佳 氏
発表 安積黎明高等学校PTA会長 菅野 貴 氏 (研究協議)
- ③ 第70回全国高P連大会島根大会 *令和3年度に延期
8月20日(木)～21日(金) くにびきメッセ～島根県立産業交流館 他
テーマ 「ご縁づくり」～いいご縁をつなごう世界へ、未来の子どもたちへ～

(2) 各種要望活動

- ① 新規高卒者の就職機会の確保に関する要請活動
 - ・ 6月15日、黒森会長が高校長協会長、高校進路指導協議会長らと、県商工会議所連合会、県中小企業団体中央会等を訪問し、陳情を行った。
- ② 県教育長への要望活動
 - ・ 9月8日に会長及び5名の副会長が揃って県庁を訪問し、県教育長に4項目の要望書を渡すとともに懇談を行った。

(3) 関係団体と連携した活動・事業等 (連携先)

- ① 「4+1ない運動」(生活指導協議会)
 - ・ 本年度の新生全員にチラシを配付するとともに、各校のオリエンテーション等において運動の趣旨について説明を行った。
- ② 「制服の適正な着用に向けた取組」「県下一斉服装指導」(校長協会、生活指導協議会、教育庁、東北及び全国高P連とともに展開)
 - ・ 6月の衣替えを前に、保護者に協力を呼びかける文書を配布した。
- ③ 「新規高卒者就職サポートプログラム」保護者研修会(県商工労働部、イノベーションコースト構想推進機構)
 - ・ 10月23日に会津学鳳高校において保護者対象の講演及びシンポジウムを開催
 - ・ 11月に相双地区で計画されていた同事業は中止となった。
- ④ 「薬物乱用防止パンフレットの作成・配付」(全国高P連)
 - ・ 本年度の新生全員に全国高P連作成のパンフレットを配布した。

(4) 各種補償制度の運営

- ① 県高P連高校生総合補償制度・自転車総合補償制度

- ・ 新規加入生徒 4,390名
- ② 全国高P連賠償責任補償制度（全国高P連）
 - ・ 42校、16,909名の生徒が加入

3 その他

(1) 義援金

- ・ 令和元年10月の台風被害に対し、昨年度末に愛媛県高P連から40万円の義援金が寄せられ、最も被害が甚大であった相馬東高校に全額を贈呈した。（4月）
- ・ 東京都高P連から東日本大震災被害への支援として毎年寄贈されている義援金（昨年度末に41万円）は、例年どおり相双地区の加盟校に贈呈した。（5月）

(2) 各種会議の委員等（会長・副会長・事務局長が分担して出席）

- ・ 福島県新規高卒者就職促進対策会議（書面）
- ・ 福島県立中学校・高等学校入学者選抜事務調整会議
- ・ 教職員多忙化解消拡大プロジェクトチーム会議
- ・ 福島県公私立高等学校協議会
- ・ 福島県青少年育成県民会議（書面）
- ・ 福島県交通対策協議会（書面）
- ・ 福島県生活交通対策協議会（書面）
- ・ 社会を明るくする運動福島県推進委員会（書面）
- ・ 福島県子ども読書活動推進会議
- ・ 福島県青少年有害環境対策推進会議（書面）
- ・ 福島県未成年者喫煙防止対策協議会
- ・ 北方領土返還要求運動県民会議（書面）
- ・ 福島県いじめ問題対策等支援運営協議会（書面）
- ・ ICT学びの変革推進会議 他

(3) 後援（本会が行った名義使用許可）等

- ・ 大学・短期大学・専門学校進学相談会：(株)栄美通信
- ・ 2020夏国内交流事業（英語研修）：日本国際交流振興会
- ・ 「ダメ。ゼッタイ。」福島県普及運動：県保健福祉部
- ・ ふくしま青少年育成セミナー：県青少年健全育成県民会議
- ・ ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業：県教育委員会
- ・ 青少年健全育成県民総ぐるみ運動：県青少年健全育成推進本部
- ・ 薬物乱用防止教室認定講師養成講座：ライオンズクラブ国際協会 332-D 地区
- ・ フラガールズ甲子園オンライン・フェスティバル：NPO 法人フラガールズ甲子園